



## 卓話 『新時代の台日関係』

【台北駐大阪経済文化弁事処 処長 蔡 明耀 様】

### 台湾とは

1. 1895年前の台湾
2. 1895-1945 日本植民地時代
3. 1945年日本敗戦で台湾を放棄
4. 中華民国は台湾を統治  
中華民国は1912年成立、1950年台湾へ
5. 台湾は小さいけれども重要な国

### 台湾データ

国名	中華民国
首都	台北市 (人口約 270 万人)
主要都市	新北市 (約 396 万人) 高雄市 (約 278 万人) 台中市 (約 271 万人) 台南市 (約 188 万人) 桃園市 (約 200 万人)
面積	約 36,193 平方キロメートル (参考:九州 42,000 k m <sup>2</sup> )
人口	約 2,346 万人 漢民族 98%、 原住民 2%
通貨	台湾ドル (NTD) 1NTD=約 3.7 円 (2015年11月)
人の往来	2014年訪台の外国人数 980 万人 2014年海外への台湾人数 1184 万人

### 台湾の外交

査証免除 153ヶ国と地域

国際機関の加盟と参与 WTO APEC WHA / WHO ICAO

努力中 UNFCCC TPP RCEP 等

馬総統の外交政策

1. 外交関係の維持 (現在 22ヶ国)
2. 実務関係の推進 (米、日、EU、ASEAN)
3. 国際機関・国際的枠組みへの参与
4. 文化、科学技術、人道支援の拡大
5. 東海・南海平和イニシアチブ

### 兩岸関係

◆台湾海峡「独立せず、統一せず、武力行使せず」という現状維持政策への支持 75.2%

(国家安全への関心)

◆大陸政策の成果は兩岸関係の平和安定維持 59.4%

◆兩岸交流によって台湾の自由、民主、人権等の価値観を中国大陸に伝わって、相互理解を促進することへの支持 66.9%

(中国大陸の信頼できる国際社会の一員になるように)

◆基本原則: 「台湾中心、国民有利」、民間と経済交流優先、相互利益、対等、尊厳、中華民国の堅持及び「一つの中国」の各自解釈、「一国二制度」を受け入れないこと。

◆2014年3月末台湾学生が国会を占領する意味

### 馬習会

◆馬総統と習近平が11月7日にシンガポールで会談する。

◆米国: 大統領報道官アーネスト 「台湾海峡の緊張緩和と兩岸関係の改善へ向けた措置ならもちろん歓迎する」、「米国の基本的利益は安定的で平和な兩岸関係にある」

◆日本: 官房長官菅義偉 「台湾海峡の平和と安定は、地域と世界にとって極めて重要だ。日本は(兩岸関係が)直接対話で平和的に解決されるべきだ」という立場であり、状況の推移を注視したい」

(11月4日読売新聞より)

### 歴史関係

① 1895まで 古い時代の関係

② 1895~1945 植民地関係

③ 1945~1951 終戦時関係

④ 1952~1972 外交関係

⑤ 1972~2010 実質関係

⑥ 2011~ 新時代の関係

### 日本の貢献(戦前)

台湾近代化の基礎

- ・国勢調査と戸籍
- ・交通、電力、農業と水利、金融等インフラ建設
- ・医療衛生の改善
- ・教育の普及
- ・法律制度の確立

### 日本の貢献(戦後)

- 1、ODAによる援助
- 2、投資による援助
- 3、政治の支持

↓

台湾の安定と近代化

### 安全保障 台湾の重要性と国際役割

日本、米国、東南アジア、太平洋地域にとっては重要な存在

- ・民主、自由、市場経済等の共有価値
- ・戦略要衝と日本の西南翼 (航行運輸安全)
- ・経済発展と繁栄と平和等の役割
- ・環境保護、衛生医療、文化保護
- ・中国共産党を十分認識

### 新時代の台日関係

・1972年12月亜東関係協会と交流協会成立

・1972年9月29日外交関係中止

・非政府間の実務関係: 切っても切れない関係

◆「台湾は、我が国との間で緊密な経済関係と人的往来を有する重要な地域。引き続き日台間の実務的な協力関係が着実に発展していくことを期待している。」(2012年1月14日、玄葉外務大臣談話)

◆日本政府は、国内法令の範囲内で「できる限りの支持と協力を与える」方針。

(1972年12月26日、二階堂官房長官談話)

(総領事 蔡 明耀様卓話資料より抜粋)

